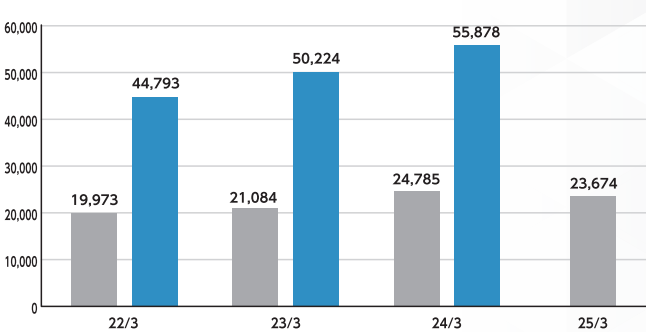
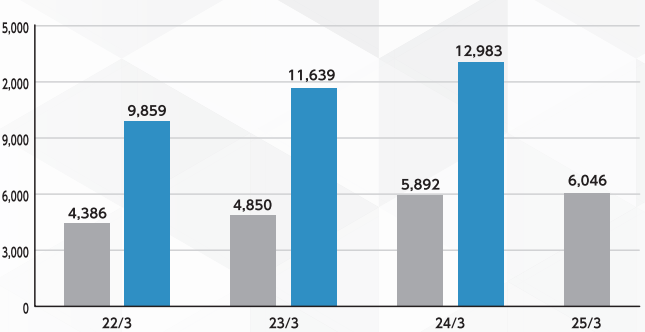


2025年3月期 中間期 連結決算概要

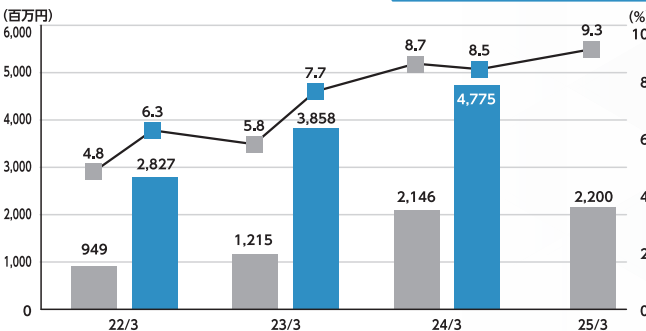
売上高 中間期 通期 単位:百万円



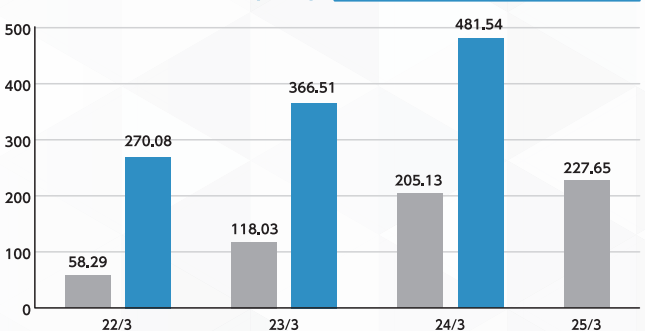
売上総利益 中間期 通期 単位:百万円



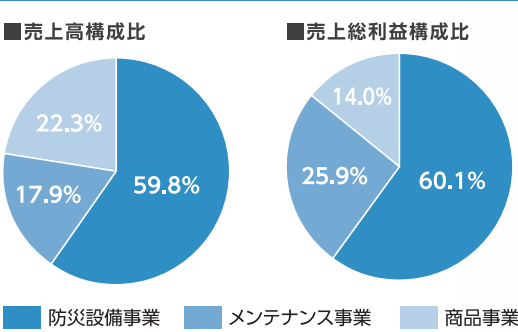
営業利益・売上高営業利益率 中間期 通期 売上高営業利益率 単位:百万円 (%)



1株当たり当期純利益(EPS) 中間期 通期 単位:円



営業種目別の概況



防災設備事業

大型案件の受注は引き続き旺盛であるものの、着工初期の案件が多かったこと等により、売上高は前年同期比2,044百万円の減収、売上総利益は同101百万円の減益となりました。

メンテナンス事業

改修・補修工事事案件の進捗等により、売上高は前年同時期比552百万円の増収、売上総利益は同174百万円の増益となりました。

商品事業

機器類の販売および小型工事事案件の引き合いが増加したこと等により、売上高は前年同期比380百万円の増収、売上総利益は同81百万円増益となりました。

COMPANY PROFILE

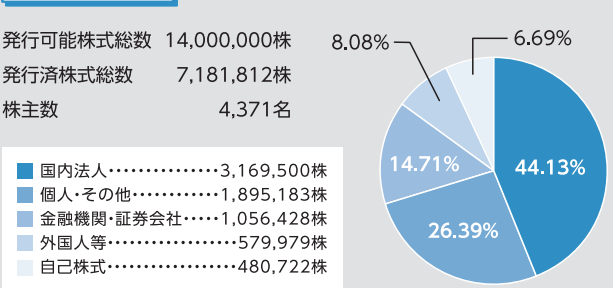
会社概要

商号 日本ドライケミカル株式会社(Nippon Dry-Chemical CO., LTD.)
代表者 代表取締役社長 亀井 正文
設立 1955年4月23日
資本金 700百万円(2024年9月30日現在)
従業員数 781名/ グループ総数 1,150名(2024年3月31日現在)

役員体制

(2024年9月30日現在)
代表取締役社長 亀井 正文 社外取締役 南波 幸雄
常務取締役 浅田 裕冲 社外取締役 清 威人
取締役 松岡 猛 常勤監査役 大橋 徹
取締役 柄澤 秀樹 社外監査役 渡慶次 憲彦
取締役 山内 良介 社外監査役 紀陸 保史

株式の状況



株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
総合警備保障株式会社	1,100,000	16.41
日本ドライケミカル取引先持株会	443,800	6.62
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	428,500	6.39
ヨシダ トモヒロ	215,300	3.21
株式会社初田製作所	200,000	2.98
新日本空調株式会社	192,000	2.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	186,200	2.77
沖電気工業株式会社	178,000	2.65
岡三証券株式会社	145,000	2.16
BNYM RE BNYMLB RE GPP CLIENT MONEY AND ASSETS AC	142,800	2.13

※1 当社は自己株式480,722株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
※2 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

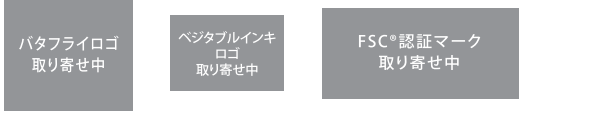
株式のご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会:毎年3月31日
期末配当金:毎年3月31日
中間配当金:毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数 100株
証券コード 1909
公告の方法 電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。
(https://www.ndc-group.co.jp/)
ただし、事故等やむを得ない事由によって電子公告による公告が行えない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

- 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社あてにお願いいたします。
- 証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 フリーダイヤル 0120-782-031
(平日9:00～17:00/土日祝除く)



NDC 日本ドライケミカル株式会社

〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー
https://www.ndc-group.co.jp

株主 第73期中間期 通信

2024年4月1日～2024年9月30日

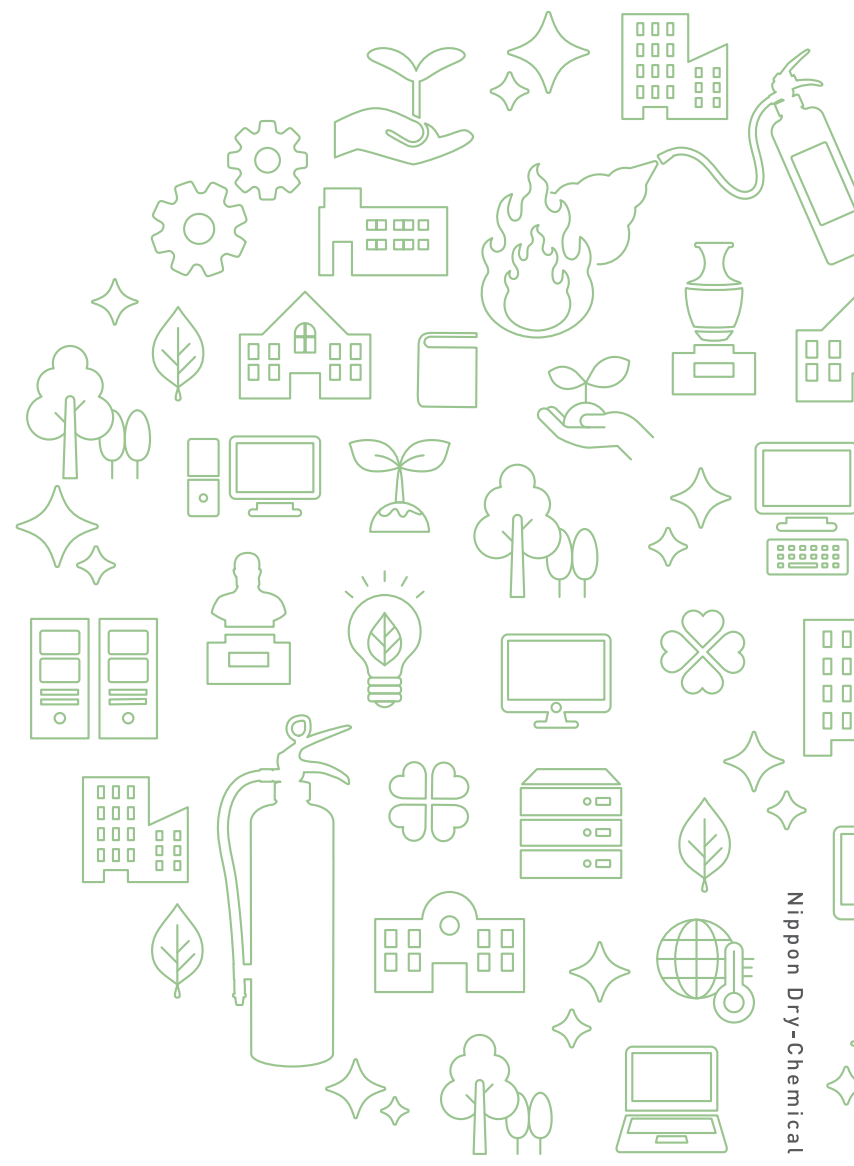
FEATURE 千葉工場にて 実験見学会を開催

— 超高感度煙検知システム VESDA®
— ひと、自然にやさしい消火ガス IG-541

創立70周年に向けて

NDC 日本ドライケミカル株式会社

証券コード 1909





MESSAGE FROM THE PRESIDENT

ご挨拶

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの属する防災業界におきましては、原材料および資源価格の高騰等による業績への影響が懸念される状況にはありますが、防災・減災を目的とした公共事業や都市部の大規模再開発等による需要拡大への期待感は尚、継続しているように見受けられます。

このような経済状況のもと、当社グループは、引き続き自動火災報知設備から消火設備、消火器そして消防自動車までを広くカバーする総合防災企業としての立ち位置を更に強化しつつ、製品ラインナップの拡充を図り積極的な営業活動を推進してまいりました。

また、各種防災設備の設計・施工、消火器及び消防自動車等の製造そしてそれらのメンテナンスを通じて、世の中に高度な安心・安全を提供し、より良質な社会インフラを構築するという社会的使命を果たすべく、グループ一丸となって注力しております。

成長の軸はエンジニアリング、さらなる企業価値向上に向けて

当社グループは、社会により高度な安心・安全を提供するため、創業から消火器、消火設備、消防自動車、そして自動火災報知設備の分野へと事業領域を拡大しながら成長を続けてまいりました。2025年4月に創立70周年を迎えるにあたり、さらなる企業価値向上に向けて、現在、中期経営計画の策定を進めております。

近年の急速に変化する社会のなかで、80年、100年と持続的な成長を継続するために、コア・ビジネスの推進に注力しつつ、社会環境の変化を先取りした先端防災、特殊防災の確立を目指して社会の要請に応える消火薬剤や消防機器製品・システムの開発に挑み続けてまいります。

また、当社グループのコア・ビジネスであるエンジニアリングを、将来のサステナビリティ社会で求められるもの、変化するものへの事業展開のアンテナとし、特殊防災の領域で付加価値を創造してまいります。

これらの価値創造プロセスとともに未来を見据え、自律的に思考・行動できる人材の層を厚くし、チーム力を高めることで相乗的な効果を創出し、総合防災メーカーとして新たな防災テクノロジー、イノベーションにより、先端防災で社会インフラを守ることに真摯に取り組む続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも全社一丸となって新たな取り組みにチャレンジする当社の発展にご期待いただき、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 亀井 正文



in
千葉工場
2024年
9月11日

実験会レポート



当社 千葉工場にて、ステークホルダーの方々をお招きして、「IG-541消火ガス」や「超高感度煙検知システムVESDA®」等の実験会を開催いたしました。

Experiment
1

IG-541消火システム

IG-541消火システムは、窒素、アルゴン、二酸化炭素の混合ガスを使用しており、消火により窒息することがない安全なガス消火システムです。

当日は、密閉した空間にIG-541消火剤を放射し、消火完了後に入室することで人体への安全性を体験していただきました。



Experiment
2

超高感度煙検知システムVESDA®



超高感度煙検知システム「VESDA®」は、目に見えない微細な煙を検知します。排気ファン有・無の環境下で、一般的な煙感知器とVESDA®の比較実験を行い、発報速度の違いをご覧くださいました。

無風状態において、約30秒で一般的な感知器が発報し、約13秒でVESDA®が発報する結果となりました。

ガス消火剤は、データセンターやクリーンルーム、半導体工場、重要文化財など水泡系消火ができない場所で使用されることから、超高感度煙検知システムVESDA®とIG-541消火システムのセットでの提案を強化しております。

Experiment
3

高環境性泡消火薬剤



高環境性の駐車場用泡消火薬剤「グリーンパーキングフォーム」は、人体に悪影響がないふっ素フリーの泡消火薬剤です。

当日は、天井に設置したフォームヘッドから泡消火薬剤を放射し、有機ふっ素化合物を含んでいる泡消火薬剤と同等の消火能力を発揮することを確認しました。



Experiment
4

高性能型消火器



粉末ABC消火薬剤は普通火災・油火災に高い効果を発揮するリン酸アンモニウムを含有しています。リン酸アンモニウムの含有率が40%(通常タイプ)と90%(高性能型)の消火器で比較実験を行った結果、高性能型消火器は通常タイプ消火器と比べ約半分の時間で消火しました。



日本ドライケミカルは

2025年4月23日に創立70周年を迎えます。

70th ANNIVERSARY

2025年4月23日に創立70周年を迎えるにあたり、記念ロゴを制作しました。

日本ドライケミカルの防災設備・防災技術が、今まで守ってきた「人」や「物」や「街」をこれからも守り続けるという想いをロゴマークのデザインに込めています。

70周年のその先を見据え、さらなる企業価値向上に向けて中期経営計画の策定を進めております。

NEW

事業所新設のお知らせ

営業基盤強化のため、事業所を新設しました。

日本ドライケミカル株式会社

2024年8月1日に熊本出張所を新設しました。

北海道ドライケミカル株式会社(グループ会社)

2024年10月1日に帯広営業所を新設しました。

COLUMN - 社員が語るNDC -

火報東京支店 工事部 1課

桜井 基

2022年入社

私は社会で必要とされ続ける業界で仕事したいという思いで就職活動を始め、その過程で防災業界を知り、入社しました。

私が所属する部署では、自動火災報知設備及びVESDA®の施工に伴う工程・経費管理を行っており、私は図面の確認・修正や、部材の発注、現場に赴き進捗状況の確認など幅広い業務に携わっています。

中でも現場での仕事は、状況に合わせてイレギュラーな対応を要することが多く、うまくいかず苦勞することもあります。無事に案件を完了できた時にやりがいを感じます。一人では解決のできない技術的な問題が発生した際は、技術書や機器説明書を読んで考えてみたり、上司に相談したりしながら、試行錯誤を重ねて乗り越えています。

技術面でまだまだ未熟なところはありますが、上司や先輩から仕事の進め方や技術を吸収し、早く一人前になれるよう今後も精進していきます。



休日はバイクツーリングや食べ歩き、観光地・博物館めぐり、ゲーム、料理など趣味を楽しみながら、気分転換をしています。